



川口市議会議員
松本ひでとし

松本ひでとし活動レポート

Vol.3

—ひとつひとつを確実に!—

〈討議資料〉

松本ひでとし後援会事務所 〒332-0017 川口市栄町2-12-27-101 TEL:048-430-7291 FAX:048-258-2233

令和5年川口市議会9月定例会

①補正予算

一般会計補正予算 **20億7千936万円**

特別会計補正予算 **8千528万2千円**

②一般議案

「川口市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例」など、条例議案7件、契約議案4件、訴えの提起議案1件、市道路線の認定議案2件、決算認定議案4件、人事議案3件

—市政の動き—

①川口市市産品フェア2023

今年9回目を迎え、会場をオートレース場に変更し10月27日から3日間開催。今後も優れた技術や製品を市内外へ向けPRし、市内中小企業の売り上げの向上、販路拡大の一助となるよう取り組みます。

②手術支援ロボットの導入

今年度は医療センター内に、新たに手術支援ロボットを導入し、9月下旬から手術ができるよう準備。より精度の高い手術の提供が期待できます。

③都市基盤整備

整備が長期間進まず地域の方々に不便をかけていることから、これまでの事業用地が全て確保できてから整備を進めるのではなく、一部でも用地の確保ができれば適宜整備を行っていきます。

9月定例会各議案に対する賛否意向確認に対する採決

議案番号	議案名
80	令和5年度川口市一般会計補正予算(第3号)
81	令和5年度川口市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
82	令和5年度川口都市計画土地地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)

83	川口市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例
84	川口市保健衛生関係事務手数料条例及び川口市旅館業の施設の設置場所及び衛生措置の基準等を定める条例の一部を改正する条例
85	川口市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
86	川口市子どもの健やかな成長のための支援に関する条例
87	川口市立学校設置条例の一部を改正する条例
88	川口市火災予防条例の一部を改正する条例
89	川口市狭あい道路の拡幅等に関する条例
90	工事請負契約の締結について(江川第3調節池整備工事(その2))
91	工事請負契約の締結について(上青木住宅解体工事)
92	工事請負契約の締結について(仮称西川口・横曽根公民館・横曽根図書館改築工事)
93	工事請負契約の変更契約の締結について(江川第3調節池整備工事(その1))
94	訴えの提起について(市営住宅の明渡し等の請求)
95	市道路線の認定について(安行第125-1号線)
96	市道路線の認定について(戸塚第29-1号線)
97	令和4年度川口市一般会計及び各種特別会計決算認定について
98	令和4年度川口市水道事業会計決算認定について
99	令和4年度川口市下水道事業会計決算認定について
100	令和4年度川口市病院事業会計決算認定について
101	川口市教育委員会委員の任命同意について
102	川口市公平委員会委員の選任同意について
103	人権擁護委員の候補者の推薦について

※全員賛成の議案：24件

以下、ひでとしの一般質問を
抜粋してお知らせします。



9月定例会 松本英利一般質問 (抜粋)

子育て、教育について

- (1) 子どもたちの学力向上について
- (2) 公立保育所における医療的ケア児の受け入れについて
- (3) 未就園児への支援について

市側の答弁

(1) 子どもたちの学力向上については、教員の授業力向上と密接に関わりますことから、学校と教育委員会が一体となり、質の高い教員の育成に向けて全力で取り組んでいるところです。

教科担任制は、学力向上策の一つあり、担当する教科数が減ることから、授業に対する深い教材研究が可能となり、質の高い授業につながります。

今後、加配教員の配置と教科担任制を連動させることを通して、小学校高学年での「中学校並みの完全教科担任制」の実現を目指すなど、教科担任制を推進し更なる学力向上に努めます。

(2) 公立保育所における医療的ケア児の受け入れについては、「川口市公設公営保育所における医療的ケア児の受入れガイドライン」に基づき、令和6年4月から公立保育所3か所での受け入れを開始するため、今年4月より入所希望者の事前相談、体験保育等を実施しています。

(3) 未就園児への支援については、未就園児のいる家庭の中には孤立し、孤独を感じながら子育てしている保護者も想定されます。未就園児がいる家庭の状況を確認し、孤立し孤独を感じながら子育てしている保護者を必要としている支援につなぎ、子どもが健やかに成長できるよう整えることで、子どももその保護者も安心して生活できる体制づくりに取り組んでいきます。

川口駅周辺まちづくりビジョンについて

- (1) 川口駅前ペDESTリアンデッキの夜間照明について
- (2) 川口駅西口喫煙所のパーテーション化について
- (3) 川口駅の利便性の向上について
 - ア 中距離電車の停車について
 - イ 川口駅の複数改札化について

市側の答弁

(1) 川口駅前ペDESTリアンデッキの照明灯に関しては、今後も計画的にLED照明灯へ切替えを進め、利用者が安全・安心に通行できるよう努めていきます。

点灯無しの照明灯有り



(2) 川口駅西口喫煙所のパーテーション化については、川口駅周辺の分煙の推進に向け、更なる指導や啓発を行うとともに、必要に応じ指定喫煙所の改修について検討を行うなど分煙環境の整備に努めていきます。

喫煙所の人工花壇から出て喫煙



(3) ア 中距離電車の川口駅停車については、ホーム増設等に係る計画案の策定や事業費の算定等の調査に関して、JR東日本と協定を締結して緊密な連携のもとで調査を進めているところです。今年度内の完了を予定しています。

調査完了後には市議会、有識者、市民の皆様のご意見を踏まえた上で、具体的な計画案を決定し、その後、JR東日本と基本協定の締結を目指します。

(3) イ 中距離電車の停車と併せて複数の改札口を設けることで更なる利便性向上が期待できます。しかしながら、整備費や管理費の増加などの課題も想定されますので、改札口を複数設けることの可能性についてJR東日本と議論して参ります。

消防について

- (1) (仮称) 中央分署について
 - ア. 開署に向けたスケジュールについて
 - イ. 整備内容について
- (2) 消防団第1支団第2分団車庫の建替えについて
- (3) 救急車ひっ迫アラートについて

市側の答弁

(1) ア. (仮称) 中央分署の建設予定地として検

討しているUR川口本町の跡地は、令和8年度に市へ更地返還される予定であり、更地返還後に建築工事を行う予定です。開署は早くても令和10年4月となる見込みです。

(1) イ. 消防庁舎の建替えは、これまでも災害活動拠点としての機能だけではなく、隊員の衛生管理や訓練環境に加え、救命講習など市民の皆様への啓発や研修を行うこともできるスペースなどに配慮した設計を心がけて参りました。

このような点を踏まえ、(仮称)中央分署の複合化については、地元を含め市民にとって有益な施設となるよう他都市の事例などを調査研究していきます。

(2) 消防団車庫は、老朽化している消防団車庫につきましては、計画的な建替えを行っています。消防団第1支団第2分団の車庫については、現在地での建替えは困難なことから、消防団の意向を確認しながら必要な用地の確保に努めていきます。

(3) 救急車ひっ迫アラートについては、広報かわぐちをはじめとする紙媒体、ホームページを介してSNSサイトで救急情報を案内しています。併せて救命講習や救急フェア、救急医療週間などの機会に市民に対面での周知も行っています。今後は、より多くの市民に最新の救急情報を配信するとともに、救急車の適正利用の促進に努めていきます。

(3) 南中学校武道場の空調機の設置については、武道場のある中学校は南中学校を含め23校あり、これら全ての武道場に空調機を設置することについては、設備の導入費用及び設備の更新にかかる財源が大きな課題です。現時点では武道場への整備の計画はありませんが、今後、補助制度の更なる充実など国の動向について注視して参ります。

初めての

9月定例会一般質問をしました

9月定例会で初めて一般質問をすることは、6月定例会後に分かり徐々に質問項目の選定などを始め、本腰を入れ準備したのは8月からでした。その間7月・8月は盆踊り、お盆、暑気払いなど、週末や夜間に対面式のイベントが増え多くの市民の皆様とお会いすることができました。この夏は充実した時を過ごしました。



初めての一般質問という事で、まずは、質問する項目と内容を決める事からスタートしたのですが、自身の政策課題として以前から挙げていた項目を質問しようと思いました。質問の項目として、「子育て」「旧そごう川口店の問題」「中距離電車の停車」「川口駅北口の開設」「地域の課題」を中心の質問をしようという概略が出来あがりました。

そこから、担当部局に対し現状を入念に聞き取り、9月7日の定例会発言通告日前日までに、大きく6個の質問項目を作成して提出しました。

その後は、一般質問にあたり質問の内容を精査し、一般質問の前日まで、完成に向けて担当部局に改めて文言の誤りなどないか再確認してもらい結果的に文字数で1万文字を超えるボリュームになり、9月20日の一般質問日を迎えることが出来ました。

一般質問の当日を迎え、前日までの入念な打ち合わせと準備の効果もあり、落ち着いて壇上に上がることができ、質問中は、とにかく声を大きくという事を考えておりました。質問した政策がすぐに全て実現する訳ではありません。しかし、市民の皆様の声に忠実にこれからも市議会議員として仕事をしていきたい。そのような事をより一層思わせてくれた一日でした。

なお、市議会のHPで一般質問の録画を見ることが出来ますので、ご覧頂き感想を頂けると嬉しいです。次回の一般質問は、2024年3月定例会の予定です。

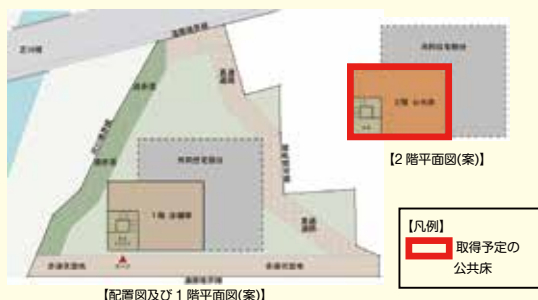
地域の課題について

- (1) 旧栄町公民館跡地の整備について
- (2) 埼玉高速鉄道の川口元郷駅前整備について
- (3) 南中学校武道場の空調機の設置について

市側の答弁

(1) 旧栄町公民館跡地の整備については、美術館計画を含めた市街地再開発事業を予定しておりましたが、美術館建設予定地の変更等に伴い、土地利用等は未定となっています。

(2) 川口元郷1丁目2番地区共同化事業については共同住宅の整備に併せて、敷地内に歩道状の公開空地を設けるとともに、市有地を完成予定の建物の権利床に交換し、駅至近の好立地を活かしたコワーキングスペースなど地域貢献施設の誘導に向け検討しています。



以下、ひでとしが気になった
質問を抜粋して
お知らせします。



9月定例会一般質問

子ども医療費支給事業の拡充について

市長の答弁

埼玉県内の子ども医療費助成対象の年齢拡大は、地域間で医療費の負担に差が生じていることから県に対して、拡充を求める要望を続けています。こうした中、大野知事は、子ども医療費の助成対象年齢の引き上げを表明しました。川口市では県が対象年齢の拡充を行った場合には、高校生への拡充を視野に検討するよう担当部局に指示しました。今後は、実施時期と財源のバランスも考慮のうえ、子育て世代の皆さんにとって、よりよい制度となるよう、努めて参ります。

GIGAスクール端末について

- (1) 端末追加購入の必要性について
- (2) 具体的な対策について

市側の答弁

GIGAスクール端末につきましては、落下等による破損が多発しており、年度当初に予備端末が不足する事態になりました。物損端末の修理は、新たに購入するよりも費用が高額になるため、来年度入学する小学1年生、中学1年生が使用する端末を確保するため追加購入します。

これまで、端末の故障及び破損の対応には、保険加入はせず、一定数の予備端末を保有し、端末の交換を行ってきました。今後も破損の多発が続く場合、予備端末での対応より保険に加入した方がより効率的な運用が見込まれることから、来年度に向け保険加入を検討しています。また、落下等の衝撃による破損対策として新たな保護ケースの導入も計画しています。

ご挨拶 ～がけっぶちの下位当選だからこそ～

2023年4月に開催された川口市議会議員選挙に初挑戦し、2,568票の得票数を頂き初当選させて頂きました。しかしながら、次点の方との得票差は135票差で42議席中38番目の下位当選でありました。



そんな私だからこそ、市民一人一人の1票に託す想い、そして、その1票の重み、また、選挙の厳しさをギリギリの下位当選者として現職議員の中で一番痛感しております。

今、任期を頂き6ヶ月を経過しておりますが、常に崖っぶちの精神で政治活動に取り組んで参りますと共に『ひとつひとつを確実に!』をモットーに、全力で地域発展のために尽力します。

人にやさしい街づくりについて

- (1) 高齢者世帯を対象とした粗大ごみの収集について

市側の答弁

高齢者世帯では屋外の指定場所へ自身での粗大ゴミの運び出しは困難との相談が寄せられる場合があり、川口市社会福祉協議会の「ちょこっと困りごとサポート」の利用を案内し対応しています。

子育て支援について

- (1) 産後ケア事業について
ア. ケアの種類の利用状況について
イ. アンケート調査結果について

市側の答弁

ケアの種類の令和4年度の利用実績は、宿泊型32人、日帰り型282人、早期訪問型36人、一般訪問型31人。令和5年度4月～6月の利用実績は、宿泊型23人、日帰り型129人、早期訪問型15人、一般訪問型7人です。アンケートでは約98%が満足またはとても満足と回答。今後も心身のケアや育児のサポート等、利用者のニーズに沿った支援を提供できるよう努めます。

共働き世帯の増加を反映した保護者負担の軽減を

- (1) 入学準備について
- (2) 保護者による学校生活のサポートについて

市側の答弁

入学時に学用品への記名など、過度な作業を求めていることがないよう、保護者の意見も参考にしながら入学準備のあり方を検討するよう市立学校長会議で指導していきます。

清掃費などの更なる予算化については、各学校の状況を把握し、最適な予算配分に向けた課題の一つとして調査研究していきます。

プロフィール

- 昭和49年7月生まれ ● 栄町在住
- 上青木双葉幼稚園/川口市立本町小学校/
明治大学付属中野中学校/明治大学付属中野高等学校/
明治大学政治経済学部卒業
- 趣味/アイスホッケー
- 川口市議会 環境経済文教委員会委員
- 会社役員/川口宅地建物取引業協同組合理事/
公益社団法人埼玉県宅地建物取引業協会川口支部理事/
川口鋳物工業協同組合/川口商工会議所青年部/
公益社団法人川口法人会青年部
日本棋院川口支部幹事

【公式HP】

